

## 年度末に向けて、まとめと準備をしっかりと！

校長 松井克仁

2026年が始まり、約1か月が経ちます。遅くなりましたが、本年もどうぞよろしくお願ひします。

さて、今年度も早いもので残りわずかとなりました。この1年間で子供たちは、心身ともに大きく成長しました。できることが増え、頼もしく感じることが多くなってきました。一人一人の成長の度合いはもちろん違いますが、どの子も確実に成長しています。3月末までの残りの期間で、その「成長」の中身について各自や学級の仲間と振り返り、「1年のまとめ」をしていきます。さらに、一人一人が成長できた要因を考えていくことで、これから的人生においても目標に向かって努力し続けることの大切さを感じてほしいと考えています。

あわせて、次の学年に進級・進学する「準備」も「まとめ」と同じくらい大切です。2年前まで瑞浪市は3学期制をとっており、当時はこの3学期を次の学年の「0学期」と呼んで「準備」の大切さを子供たちと一緒に考えていました。2学期制に変わりましたが、この期間における「準備する」という役割は変わるものではありません。ここで次の学年の準備(=心構え)をしっかりとおけば、4月から始まる新学年でよいスタートを切ることができます。どの子も4月はフレッシュな気持ちで「よし、頑張るぞ！」と張り切っています。子供たちのそのやる気を応援してやりたいと思います。

「まとめ」と「準備」を通して、子供たちが自信と感謝の気持ちを育むことができる年度の締めくくりにしていきたいと思っています。



【6年生の書初めの掲示】

## なかよし活動を通して、思いやりの心を育みます

土岐小学校には、異学年の縦割りチーム(なかよし)があり、年間を通じて遊びながら仲を深めています。1つのなかよしチームのメンバーは12~13名で、各学年2~3名ずつで構成されています。高学年は、自分たちが楽しむことはもちろんですが、下級生をまとめたりお世話をしたりしてリーダー性を高めることを、また低学年は仲間と一緒に活動する中で上級生に対して憧れや目標をもつことなどをねらいとしています。

1月30日(金)に、なかよしチーム毎に簡単な遊びを考え、お互いにそれらの遊びを回って体験する「なかよしフェスティバル」を行います。なかよしフェスティバルのスローガンは「チームで協力！笑顔いっぱいフェスティバル！」です。低学年は名札づくり、中学年はポスターや看板づくり、高学年は遊びを説明したり進めたりする役目を担います。子供たちはなかよしフェスティバルをとても楽しみにしているようです。これらの取組を通して、仲間と協力して活動することの楽しさや仲間を思いやることの大切さを感じてくれると嬉しいです。



【仲間と協力して進める準備】